

伝統のなかで考える男女平等性

～カポエイラ・アンゴラからの考察～

ブラジルの伝統芸能「カポエイラ・アンゴラ」は、奴隷として人権を奪われた人々が自身の尊厳とルーツを守ろうとするなかで形作られていった舞踏です。

この身体表現を通して、女性の権利とエンパワメントを考え、あらゆる人間が平等の権利を行使できる共生のあり方を模索します。



講師 メストラ・ジャンジャ

講師 コントラメストラ・ブルーナ

ブラジルの女性師範から

動き・音楽を体験！講義で学ぶ！

生き方、社会との関わり方

身体の解放

申込みはこちら



カポエイラ・アンゴラのワークショップと講義

カポエイラを通して40年以上、ブラジルにおける性差別の問題の改善に取り組んできた女性師範、ジャンジャ師範より、その取り組みについて、踊りと音楽のワークショップおよび講演を通して学びます。

プログラム

10月27日(日)

(受付開始は13:15~)

① 体験型ワークショップ「音楽と動きによる解放」 13:30-15:00

② 講義「伝統のなかで考える男女平等性」 15:00-16:30



講師:ジャンジャ師範/Mestra Janja

バイーア州立連邦大学教育学准教授、カポエイラの師範(インジンガ代表)。大学での女性学学際研究センターでコーディネーターを務め、人種差別、性差別改善のための活動に40年にわたり携わるほか、主にアフリカ系文化の研究と教育、ジェンダーに関する研究を行う。

講師:ブルーナ準師範/Contramestra Bruna

幼少期よりインジンガ本部で育ち、文化活動家、音楽編曲家として活動する。カポエイラ・アンゴラの世界における女性の存在とリーダーシップを反映するための社会プロジェクトに取り組んでいる。



インタビュアー:下郷 さとみ (通訳)/Satomi Shimogo

フリージャーナリスト。1992~1994年、サンパウロ市郊外の貧困地区に暮らし、子どもたちのための保育・教育活動に参加。以降、リオデジャネイロをはじめとする大都市圏のファヴェーラ(スラム)やアマゾン先住民族の土地を主なフィールドに、ブラジルのさまざまな民衆運動の取材を続けている。

対象:テーマに関心がある人

定員:40名

受付開始:9月1日(日)先着順

お申込み:ホームページの申し込みフォームより→

申込締切:10月20日(日)

参加費:大人1,500円、学生1,000円、中学生以下無料

※当日の保育はありませんが、同会場(スポーツルーム)に、キッズスペースを設けます。

※定員に空きがあれば当日申込みも可能です。

会場:京都市男女共同参画センター ウィングス京都 4F スポーツルーム

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262

お問合せ:カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ京都

荒川幸祐/080-4986-1946

主催:カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ京都

www.nzingakyoto.com

共催:(公財)京都市男女共同参画推進協会

後援:駐日ブラジル大使館

申込みはこちら



一般来館者の駐車場はありません。公共の交通機関でお越しください。



2024年度 ウィングス京都
市民活動サポート事業